

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	千歳アイヌ文化伝承活動推進事業
2 事業の種類	文化振興事業、地域・産業振興事業、コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	アイヌ文化の保存と継承、普及啓発に資する施策を展開することにより、先人から受け継がれてきたアイヌの知識や精神、技術を次世代へ確実に継承するとともに、アイヌ民族や文化への市民理解を深めることで、アイヌの人々の誇りが尊重される地域社会の実現を目指す。
4 事業の概要	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>ア アイヌ文化担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体 : 千歳市 ○事業の実施場所 : 蘭越生活館ほか ○事業の実施期間 : 交付決定の日～令和5年3月 ○事業の内容と考え方 <p>アイヌ文化に興味を持つ方々を対象に、アイヌ語や手芸、古式舞踊などアイヌ文化に関わる体験講座を開催し、文化伝承活動のすそ野を広げるとともに、儀礼に関わる知識や精神、技術を教授し、アイヌ文化の継承者を育成する。</p> <p>また、伝統工芸品の制作をとおして、伝統工芸に関わる知識や技術の保存・継承を図るとともに、制作した工芸品を展示物として活用する。</p> <p>さらに、事業を円滑に実施するため、講座等の開催場所となる蘭越生活館の老朽設備を修繕・交換する。</p> <p>イ 伝統的なアイヌ文化・生活の場再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体 : 千歳市 ○事業の実施場所 : 蘭越生活館 ○事業の実施期間 : 交付決定の日～令和5年3月 ○事業の内容と考え方 <p>千歳アイヌの伝統的サケ漁法の伝承活動をより充実化させ、後世へ確実に継承していくための環境を整備するため、サケ漁に使用するチプ（丸木舟）を伝統的技法により制作し、チプ制作および操船に関する知識と技術の保存・継承を図るとともに、蘭越生活館の敷地内にチプを適正に保管するための倉庫等を整備する。</p> <p>また、チプの完成に合わせて「チプサンケ（進水の儀式）」を開催し、チプサンケに関する儀礼作法の保存・継承を図る。</p> <p>ウ 千歳アイヌ文化普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業実施主体 : 千歳市 ○事業の実施場所 : サケのふるさと千歳水族館、北ガス文化ホール、ウポポイ 外 ○事業の実施期間 : 交付決定の日～令和5年3月

	<p>○事業の内容と考え方</p> <p>千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会の会員を中心に大切に受け継がれてきたアイヌ文化を広く市民に披露するとともに、親子でアイヌ文化に触れ、体験してもらうことができるイベントを開催する。</p> <p>また、学びや体験を通して郷土の魅力とアイヌ文化への理解を深める機会として、アイヌ文化セミナーを開催する。</p> <p>さらに、旧石器時代にはじまり縄文時代を経てアイヌ文化期に至る先人の歴史を学習し理解を深める機会として、史跡やアイヌ文化施設等を巡る見学会を開催する。</p>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業</p> <p>■アイヌ文化担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会が主体となり、講座の開催などを通じて、アイヌ語をはじめ、刺しゅうや木彫、伝統舞踊や儀礼など、アイヌの知識や精神、技術を教授し、アイヌ文化伝承活動のすそ野を広げるとともに伝承活動の担い手の育成を図る。 ・木彫や民具、手芸品などの制作を通して、伝統工芸品の制作に関わる知識や技術の保存・継承を図るとともに、制作物を生活館及び市内イベント会場等で展示する。 ・アイヌ文化担い手育成事業を円滑に実施するため、講座等の開催場所となる蘭越生活館の老朽設備を修繕及び交換する。 <p>■伝統的なアイヌ文化・生活の場再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的なサケ漁法の伝承活動をより充実化させ、後世へ確実に継承していくための環境を整備するため、千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会が主体となり、サケ漁に使用するチブ（丸木舟）を制作し、知識や技術の保存と継承を図る。 ・蘭越生活館の敷地内にチブ（丸木舟）を適正に保管するための倉庫等を整備する。 ・アイヌの人々によって継承されてきた儀式その他アイヌ文化の振興等に利用する林産物を国有林野から採取することを目的に、国有林野における有用林産物の資源状況等調査を実施する。 <p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>■千歳アイヌ文化国際交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会会員（以下、「会員」という。）の若い世代を中心に、姉妹都市アンカレジ市や諸外国を訪問し、現地の先住民族の伝承や保存、生き方を学び、アイヌ文化の担い手となる人材の育成を図る。 ・姉妹都市アラスカ州アンカレジ市の先住民族を招へいし、市民に対してアラスカの先住民族の歴史や伝統、文化を紹介することにより、アイヌ民族をはじめとした先住民族に関する市民理解の促進を図る。 <p>■千歳アイヌ文化普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員を中心に大切に受け継がれてきたアイヌ文化を広く市民に披露するとともに、親子でアイヌ文化に触れ、体験してもらうことができるイベントを開催する。また、併せて、アイヌ文化に関わる公演を開催する。 ・市民が、学びや体験を通して郷土の魅力とアイヌ文化への理解を深める機会として、アイヌ文化セミナーを開催する。 ・市民が、旧石器時代にはじまり縄文時代を経てアイヌ文化期に至る先人の歴史を学習し理解を深める機会として、史跡やアイヌ文化施設等を巡る見学会を開催する。

	<p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌ文化ツーリズム創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭越生活館などアイヌ文化を発信する拠点施設のWi-Fi環境整備などの観光客受入環境整備。 ・マレク漁やアシリチュエプノミなど千歳特有のアイヌ文化の伝承活動の実態調査を行い、体験型観光として商品化が可能か検討する。 ・衣装の作成及び祭事器の地域内保有量調査などアイヌ文化の発信に必要な物品等の整備。 ・新千歳空港からキウス周堤墓、道の駅（サケのふるさと千歳水族館）、蘭越生活館、支笏湖など千歳市内を巡りウポポイへ接続するアイヌ文化ツーリズムの創出など観光客等がアイヌ文化に触れ体験する企画・ルートの開発。 ・サケのふるさと千歳水族館に、サケとアイヌ文化の関わりをパネルや映像展示品などで紹介するコーナーを整備。 <p>■アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化をテーマとした道の駅での体験・学習イベントの開催。 ・WEB及び情報誌等への掲載によるアイヌ文化の発信。 ・千歳川に遡上したサケを捕獲するマレク漁などアイヌ文化ツーリズムに関連した誘客プロモーションの実施。 <p>■外国人観光客等に対応したインフォメーション機能整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳アイヌ文化に関する映像の収録及び編集。 ・新千歳空港や道の駅へのデジタルサイネージ及び展示コーナーの設置による交通・観光拠点におけるインフォメーション機能の充実。 ・千歳アイヌ文化を外国人観光客に紹介するための多言語による案内板の蘭越生活館への設置及びパンフレットの作成。
--	--

6 事業の成果目標等

<p>(1) 成果目標の達成に向けた工程</p>	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>■アイヌ文化担い手育成事業</p> <p>地域の人々が、アイヌ語をはじめ、刺しゅうや木彫、伝統舞踊や儀礼など、アイヌの知識や精神、技術を学び、体験することによって、アイヌの伝統や文化に対する市民理解が深まり、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、講座等の参加者が増えるほど効果が高まると考えられる。</p> <p>■伝統的なアイヌ文化・生活の場再生事業</p> <p>伝統的サケ漁に使用するチプ（丸木舟）を制作し、チプサンケを開催することによって、伝統的なアイヌ文化・生活の場を再生し、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、事業に関わる地域のアイヌの方々の人数が多いほど効果が高まると考えられる。</p> <p>■千歳アイヌ文化国際交流事業</p> <p>若い世代が姉妹都市アンカレジ市や諸外国を訪問し、現地の少数民族の伝承や保存、生き方を学びふことにより、アイヌの人々（特に若い世代）が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、国際交流事業における交流者数が多いほど効果が高まると考えられる。</p> <p>■千歳アイヌ文化普及啓発事業</p> <p>アイヌ文化にかかわるイベントやセミナーにおける学びや体験、史跡やウポポイ等を巡る見学会での学習などを通して、郷土の魅力やアイヌ文化、先人の歴史への市民理解を深め、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、イベントやセミナー、見学会への参加者が増えるほど効果が高まると考えられる。</p>
--------------------------	--

<p>(2) 成果目標、 （中間）目標年 度（成果目標に 対する現状値、 及び成果目標の 達成見込みにつ いて記載するこ と）</p>	<p>(1) 文化振興事業</p> <p>担い手育成事業、チブ制作事業参加者数</p> <p>（現状値）令和2年度 0人/年間 （中間目標）令和3年度 100人/年間 （最終目標）令和5年度 140人/年間</p> <p>国際交流事業交流者数</p> <p>（現状値）平成30年度 0人/年間 （中間目標）令和3年度 0人/年間 （最終目標）令和5年度 70人/年間</p> <p>普及啓発事業参加者数</p> <p>（現状値）令和元年度 0人/年間 （中間目標）令和3年度 0人/年間 （最終目標）令和5年度 450人/年間</p> <p>(2) 地域・産業振興事業</p> <p>生活館観光利用者数</p> <p>（現状値）平成30年度 0人/年間 （中間目標）令和3年度 50人/年間 （最終目標）令和5年度 150人/年間</p> <p>デジタルサイネージタッチ数</p> <p>（現状値）平成30年度 0人/年間 （中間目標）令和3年度 650,000人/年間 （最終目標）令和5年度 750,000人/年間</p> <p>千歳水族館展示室利用者数</p> <p>（現状値）令和2年度 0人/年間 （中間目標）令和3年度 120,000人/年間 （最終目標）令和5年度 150,000人/年間</p>
<p>(3) 成果目標の確 認方法</p>	<p>KPIである担い手育成事業・チブ制作事業の参加者数、国際交流事業の交流者数、普及啓発事業の参加者数、生活館観光利用者数、デジタルサイネージタッチ数、千歳水族館展示室利用者数について、実績値を公表する。また千歳アイヌ協会や千歳アイヌ文化伝承保存会等により、目標達成状況等の検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。</p>
<p>7 地域の概要</p>	
<p>(1) 地域における アイヌ文化等の 現状及び課題</p>	<p>千歳地方一帯は、1600年代より「シコツ」（アイヌ語で大きな凹地）と呼ばれており、史記にも「志古津」や「シコツ」と記載され、千歳川もかつてはシコツ川と呼ばれていた。かつて千歳には、多くのアイヌ民族が住んでおり、歴史的にアイヌ文化に関わりが深い。</p> <p>千歳市においては、昭和32年に蘭越町内会が北海道アイヌ協会へ加入したことに始まり、昭和37年2月には北海道ウタリ協会千歳支部が結成され、平成21年に北海道ウタリ協会から北海道アイヌ協会に改称、平成26年には社団法人から公益社団法人への移行に伴い、千歳支部も同年4月から「千歳アイヌ協会」に改称した。</p>

	<p>これまで、千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会は、蘭越生活館を活動の拠点に、「アイヌ語教室」を開催し、「アシリパノミ」や「アシリチェプノミ」などの伝統的儀礼をはじめ、年間を通して様々な行事を実施してきており、千歳アイヌの生活や文化等の発信に努めてきた。</p> <p>また、平成8年3月には千歳市立末広小学校にチセが完成し、学校教育現場における本格的なアイヌ文化学習が行われるようになった。</p>
	<p>このように、千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会のこれまでの取組により、千歳市内でもアイヌの歴史や文化を学ぶ機会が創出され、アイヌ文化に対する市民の関心は高まりつつある。</p> <p>一方で、千歳アイヌ協会及び千歳アイヌ文化伝承保存会では、伝承活動の中心を担っている会員の高齢化が進んでおり、また、既存会員も経済的理由により伝承活動に専念できる者が少ないことから、若手をはじめとした伝承活動の担い手が不足している。</p> <p>このような背景から、伝承活動の担い手を育成し、千歳アイヌの伝統及び文化を次世代へ円滑に継承することが喫緊の課題となっている。</p>
(2) 施設等の管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蘭越生活館は、千歳市が管理している。 ・ サケのふるさと千歳水族館は、千歳市が管理している。 ・ 北ガス文化ホールは、千歳市が管理している。 ・ 新千歳空港は、新千歳空港ターミナルビルディング(株)が管理している。
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	<p>千歳アイヌ協会、千歳アイヌ文化伝承保存会と適時意見交換を行っている。</p>

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	32,903,000	19,285,000	13,618,000	0
市町村負担額	8,226,000	4,821,534	3,404,466	0
計	41,129,000	24,106,534	17,022,466	0

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	41,129,000	18,606,534	22,522,466	0
旅費	0	0	0	0
報償費	154,000	57,940	96,060	0
需用費	2,795,000	10,000	2,785,000	0
借料	172,000	109,380	62,620	0
委託費	22,419,000	18,403,000	4,016,000	0
工事請負費	10,500,000	0	10,500,000	0
備品購入費	5,070,000	0	5,070,000	0
広告料	0	0	0	0
役務費	19,000	26,214	0	△ 7,214
地域・産業振興事業	0	5,500,000	0	△ 5,500,000
旅費	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
需用費	0	0	0	0
借料	0	0	0	0
委託費	0	5,500,000	0	△ 5,500,000
備品購入費	0	0	0	0
広告料	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0

経費区分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0
旅費	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
需用費	0	0	0	0
借料	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
広告料	0	0	0	0
役務費	0	0	0	0
合計	41,129,000	24,106,534	17,022,466	0
旅費	0	0	0	0
報償費	154,000	57,940	96,060	0
需用費	2,795,000	10,000	2,785,000	0
借料	172,000	109,380	62,620	0
委託費	22,419,000	23,903,000	0	△ 1,484,000
工事請負費	10,500,000	0	10,500,000	0
備品購入費	5,070,000	0	5,070,000	0
広告料	0	0	0	0
役務費	19,000	26,214	0	△ 7,214